

# 第5回定例理事会

1月17日  
グランドアーク半蔵門  
出席理事・監事・特別参与31人

## 一般社団法人へ移行 3月の理事会で決議、準備へ

新公益法人制度の下で、日遊協が現行の社団法人(特例民法法人)から一般社団法人、公益社団法人のどちらに移行するか選択期限が迫っているが、この日はこれまでの経緯が改めて説明され、公益法人化への条件となる公益目的事業比率の50%超えが、現状では難

### 将来には「公益」の道も

しいとの結論となった。これを受けて、3月の第6回定例理事会で一般社団法人への移行に関する決議を行なうことが承認された。

深谷会長は「各団体すべてに当たったわけではないが、こちらから



この問題を縷々説明し、意見を聞いたところ、今の遊技産業の状況を見る限り一般社団、公益社団というよりも業益をとまかく追求するべきではないか、この業界が先ず健全化し、隆盛を極めて行く状況になれば、改めて公益法人化を考えてもいいの

来賓として出席した平沢勝栄衆議院議員(右)の軽妙なあいさつに思わず微笑む深谷会長



### 定款変更を経て申請

今後のスケジュールは、3月の定例理事会で移行を決議した後、改めて公益法人を申請する道は開かれている」と述べた。

改めて公益法人を申請する道は開かれている」と述べた。

6月の第24回通常総会で定款変更の決議、追加規程(寄付金取扱規程、特定費用準備金等)の承認、新法人の代表理事と常勤業務執行理事の選任、認定申請に係る重要事項の承認(移行認定申請書類一式の確認)などを行なう。その後、移行認定申請作業に入り、12月に一般社団法人となる予定。

日遊協は、新公益法人制度での一般社団か公益社団かの移行問題について、2010年2月に有識者会議(河上和雄座長)を設置した。会議は同年7月まで6回開催され、

①日遊協の今後の進むべき道 ②団体のあり方 ③申請の仕方——の3点について複数の選択肢を挙げて議論した。その結果をもとに内部でさらに議論を重ね、今回、一般社団法人への移行でコンセンサスを得た。

### 「活性化チーム」を結成

「遊技産業活性化プロジェクトチーム(仮称)」を日遊協内に設置することが決議された。業界横断組織として、ホール、メーカー、販社の各団体に属する副会長レベ

理事会で産業の危機を訴え、プロジェクトの立ち上げを説明する深谷友尋会長



しそうな状況と  
なっている。決  
定すれば植栽は5、  
6月の予定。  
津波で被災し  
た海岸防災林は  
青森県から千葉  
県にかけての約  
140kmとされ、  
同プロジェクト  
は地元とNPO  
や企業・団体等が連携して行なう。  
分別・無害化された瓦礫を利用し  
て防潮堤を再生し、クロマツ、ア  
カマツ、カシワ等を植林すること  
になっている。

ルで構成する。ファン離れ、遊技人口の減少、高齢化社会対策、高コスト、高射幸性、依存など当面の諸問題について、優先順位をつけて集中的に審議し、短期間で実効性のある結論を出すことを目標としている。

## 「防災林再生」へ協力

東日本大震災の津波で被災した海岸防災林を再生させる「『みどりのきずな』再生プロジェクト」(林野庁)への活動参加について、その後の経過が事務局から報告された。仙台市若林区荒浜地区2ヘクタールについての活動募集があり、日遊協は昨年12月に応募した。応募者多数で面積調整した結果、日遊協の植栽活動は2000㎡に決定

日遊協は現在、埼玉県嵐山町で「共生の森」の里山造成10年計画事業を進行中だが、植林をすべて終えて残り5年間の整備期間に入っており、同プロジェクトを新たな社会貢献・環境対策活動にして行く方針となっている。

ホール関係5団体代表者会議、同事務局会議、風営法WG等の開催状況が報告された。子どもの車内放置事故対策、リカバリーサポート・ネットワークへの支援策、ホール5団体代表者会議開催の定

例化、パチンコ・パチスロ産業21世紀会開催の定例化などが、これらの会議で重層的に審議されている事が報告された。

会議の冒頭、来賓の平沢勝栄衆議院議員があいさつ、安倍内閣の方針等を述べた。

新規に賛助会員1社の入会が承認された。1月17日現在、正会員345社(ホール114、機械69、販売114、景品10、その他38)、賛助会員65社、計410社と団体会員1(同友会)となった。(20ページに新規入会会員)

## 日遊協支部運営会議 7支部から活動報告

支部運営会議が1月17日、グランドアーク半蔵門で第5回定例理事事に先だって開かれた。松谷明良(北海道)、谷口久徳(東北)、庄司孝輝(東京都・関東)、山口悟(中部)、福井章(近畿)、後藤信行(中国・四国)、樋口益次郎(九州)の7支部長、本部から深谷友尋会長が出席した。支部ごとの活動状況と課題

が報告され、本部から、リカバリサポート・ネットワークの「認定NPO法人」認定のための賛助会員加入と寄付金に関するお願い、「遊技機アワード2013」の概要、子どもの車内放置事故防止へのホール5団体の取組み等の報告や説明があった。

2月の行事予定		
4日(月)	13:30~15:00	中古機流通PT
6日(水)	13:30~	貯玉補償基金理事会
7日(木)	15:30~17:30	東京都・関東支部役員会
12日(火)	13:30~14:30	不正対策室会議
	15:30~17:30	景品関連促進PT
15日(金)	12:00~18:00	人材育成フォーラム
	16:30~17:30	東北支部臨時会議(東北支部事務所)
	18:00~20:00	東北支部新春の集い(仙台・パレス平安)
18日(月)	15:00~17:00	風営法PT
19日(火)	12:30~14:30	景品関連促進PT
	15:00~17:00	遊技機委員会
21日(木)	10:00~17:30	店长・管理職能力開発講習・試験(名古屋・栄メパースオフィビル)
22日(金)	13:30~15:30	社会貢献・環境対策委員会
	16:00~17:00	広報調査委員会
26日(火)	15:00~17:00	セキュリティー対策委員会
27日(水)	10:00~17:10	取扱主任者講習・試験(新規)(博多サンヒルズホテル)
28日(木)	10:00~16:50	取扱主任者講習・試験(更新)(博多サンヒルズホテル)

FEBRUARY

# 理事に吉村泰彦氏を選任 「グローバルな視点で尽力」

1月17日  
グランドアーク半蔵門  
出席正会員120社

第5回定例理事会に引き続いて  
1月17日、グランドアーク半蔵門  
で日遊協臨時総会が開かれ、欠員  
となつている理事1人に全機連推

薦の吉村泰彦氏を選任した。任期  
は6月の通常総会までとなる。吉  
村氏はJCMシステムズ(株)代表取  
締役社長で、現在、遊技場メダル

自動補給装置工  
業会副理事長。  
昨年11月の日遊

協第4回定例理  
事会で、同年6  
月に死去した露  
木道男氏の後任  
理事候補に承認  
されていた。

吉村理事は「J  
CMシステムズ  
は元々遊技機メ  
ーカで、現状  
は設備メーカー  
としてメダル補  
給を中心とし、  
海外ではカジノ  
マシンに関連す  
る事業をしてい  
る。この3年か  
ら5年にかけて

パチンコ業界は大きな変革期が訪  
れると思うが、遊技機メーカー、  
設備メーカーとしての観点と、そ  
して海外事業の観点から、グロー  
バルな見方をさせていたたく中で  
日遊協のお役に立てるよう全力を  
尽くしたい」と抱負を述べた。

臨時総会は出席正会員120社、  
委任状提出正会員136社で、同  
日現在の正会員数(345社)の過  
半数を超え、定款第23条の規定を  
満たして臨時総会は有効に成立した。  
議長団に深谷会長、兼次、福井両  
副会長を選出し、議事を進めた。

## 「交野市判決」で報告

この後、篠原専務理事が昨年11  
月27日出された、大阪・交野市のパ  
チンコホールの営業許可取り消し  
を命ずる大阪地裁判決に関連して、  
「原告適格をめぐる、相反する判  
決について」と題する報告を行った。  
同専務は、交野市における判決で  
は近隣住民の原告適格を認めたが、  
それ以前の同年5月に京都市にお  
いて出された判決では認めていな  
かった点を指摘、「従来の行政的解  
釈では京都における判決だったが、  
交野市における判決ではそれらが  
すべて否定された。2つとも控訴  
中なので、これらの判決が今後ど  
う出るかによって大きな影響が出  
る可能性がある」と述べた。

## 参加250人で賑やかに新年祝賀

# 「若い社員、若いファンを」

## 深谷会長が将来展望を示す

日遊協新年祝賀会が1月17日、  
第5回定例理事会、臨時総会、記  
者会見の後、グランドアーク半蔵  
門で開かれた。日遊協正会員企業・  
賛助会員企業の各社員、理事・相

談役等の役員、さらに業界誌関係  
者など約250人でにぎわった。  
深谷会長は冒頭「この業界は楽  
しさを売る商売だから、ネガティ  
ブな話題はやめ、前を向いて今年

記者会見で就任のあいさつをする  
吉村泰彦新理事

吉村泰彦理事を承認した臨時総会





談笑する(右から)深谷友尋会長、金沢全求副会長、新井悠司ニューギン社長



議論尽きない(左から)松田高志特別参与、岩見吉朗相談役、山田久雄副会長、庄司孝輝副会長



記念撮影する(左から)阿部恭久相談役、後藤信行理事、福井章副会長

は行きたい。昨年12月に幕張メッセで行われた『リクナビLIVE』の中の『パチンコ産業合同説明会』に、若い人が予想以上に参集してくれた。来てくれた学生さんたちからアンケートを取ったところ、パチンコ・パチスロ未経験の学生さんたちは、相変わらず『何か胡散臭い』『近寄りたくない』というイメージをこの業界に持っていた。一方、経験のある学生さんたちからは、われわれの産業について『この産業を理解できる』『健全な産業

だ』と思う』とポジティブな答をいただいた。若い方をもっと社員に迎え入れて、そこから若いファンをつくり上げていくことも1つの考え方ではないかと思った。今年こそ若い労働力の創出を図って、もっと活性化した産業にしよう。そして健全な営業を営んでいこう』と挨拶した。

握手する大器裕記理事(左)と西村拓郎理事



話し込む大久保正博副会長(左)と日野加代子トリックスターズアリア社長



# 14団体賀詞交歓会 470人で賑やかに

## 「大衆娯楽」の原点への思い

パチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体は1月29日、東京・新橋の第一ホテル東京で「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」を開いた。業界団体合同の賀詞交歓会は08年から行われ、今回が6回目。

出席したのは、14団体の役員・幹部。さらに行政当局、特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)、一般社団法人遊技産業健全化推進機構、一般財団法人保安電子通信技術協会などの関係者が来賓で、報道関係者を含めて会場は約470人でにぎわった。

冒頭、14団体の代表者が壇上に並び、代表して青松英和全日遊連理事長、市原高明日工組理事長、里見治日電協理事長の3氏が挨拶した。青松氏は、「パチンコ・パチスロは大衆の娯楽だ。勝ったり負けたたり楽しんで何十年も続いてきたが、今は機械もホール経営もそ

うではない。パチンコ・パチスロが1日も早く一般庶民のもとに戻るよう頑張っていきたい」と述べた。

### 深谷日遊協会長

### 「夢と元気を売ろう」

市原氏は、「消費税アップでホール営業も変わっていくだろうが、メーカーの立場からビジネスモデルについて提案できればと、日工組の中で議論している」と構想を語った。里見氏は、「わたし個人の考え」と断って「射幸性は今の3分の1でもいいから、若い人たちの向きの多彩なバリエーションの機械ができて業界に貢献できないも

のか」と述べた。

来賓の警察庁、古谷洋一保安課長は、「パチンコが健全な大衆娯楽になる仕組みを、業界が自主的に推進するよう期待する」と話した。最後に、深谷友尋日遊協会長が、「本年、私たちは夢を売ろう。元気を売ろう。安全を売ろう。お客様が何を望んでいるか、14団体と一緒に研鑽を深めていこう」と述べ、乾杯の発声をした。

席上、ホール関係5団体(全日遊連、日遊協同友会、余暇進、PCSA)が「子供の車内放置防止対策マニュアル」を発表、事故防止への一層の取組を声明した。

「子供の車内放置防止対策マニュアル」を発表、事故防止への一層の取組を声明した。

### 「子供の車内放置防止対策マニュアル」

### ホール関係5団体が発表 賀詞交歓会で協力呼びかけ

ホール関係5団体(全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSA)は1月29日のパチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会で「子供の車内放置防止対策マニュアル」を発表、事故防止への一層の取組を声明す

「車内放置防止対策マニュアル」を発表したホール5団体代表



るとともに、遊技産業界全体に協力を呼びかけた。マニュアルは翌30日、5団体のホームページにアップされ、ホール全従業員への周知徹底が要請された。

ホール駐車場での車内放置による子どもの死亡事故は、昨年も8月に三重県桑名市で乳児が犠牲になるなど5年連続で発生している。事態を重く見た5団体は合同委員会を設置し、きめ細かな防止対策を協議してきた。

### 経営者、店長らの行動示す

マニュアルは、①経営者・幹部が行うべき事前予防 ②店長が行うべき対策 ③巡回のポイントと発見時の対応——に分かれている。このうち、経営者・幹部が行うべ

14団体代表者が壇上に勢ぞろい。左から PSA・小堀豊理事長、認証協・下口二郎代表理事、PCSA・佐藤公平代表理事、余暇進・笠井聡夫顧問、同友会・松田高志代表理事、メダル工業会・大泉政治理事長、補給組合・梁川誠市理事長、自工会・古宮重雄理事長、回胴遊商・伊豆正則理事長、全商協・中村昌勇会長、日電協・里見治理理事長、日工組・市原高明理事長、日遊協・深谷友寿会長、全日遊連・青松英和理事長



日工組の市原理事長(右)、緒方右武専務理事(左)と話す警察庁・古谷洋一保安課長

き事前予防では、店舗責任者への啓蒙と意識づけのほか、お子様連れ入場お断りの表示、定期的巡回とアナウンス、折込みチラシ等広告宣伝での入場お断りの告知——の各徹底を現場に指示するよう説いている。店長が行うべき対策では、巡回方法・注意箇所等のマニュアル化、装備品の準備、定期訓練の実施、点呼・朝礼での喚起、実施状況の確認、発見した場合の組合・団体への報告等を挙げている。

### 巡回の注意点と事故対応

巡回のポイントと発見時の対応では、巡回点検時の装備品(携帯電話または無線機、緊急時使用のハンマー、ガムテープ、大型懐中電灯等)、巡回点検のポイントと注意点、車



(左から) 原田貫前全日遊連理事長、健全化推進機構・伏見勝専務理事、日遊協・大久保正博副会長、全日遊連・青松理事長

### 21世紀会構成団体

- 全日本遊技事業協同組合連合会
- 社団法人日本遊技関連事業協会
- 日本遊技機工業組合
- 日本電動式遊技機工業協同組合
- 全国遊技機商業協同組合連合会
- 回胴式遊技機商業協同組合
- 遊技場自動サービス機工業会
- 遊技場自動補給装置工業組合
- 遊技場メダル自動補給装置工業会
- 一般社団法人日本遊技産業経営者同友会
- 一般社団法人余暇環境整備推進協議会
- 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会
- 一般社団法人プリバードシステム協会
- 一般社団法人電子認証システム協議会

内放置を発見した時の対処(子ども)の反応がある場合、ない場合)、救出方法等を説明している。

このほか、参考として「熱中症の応急処置」、ダウンロードして使うための「子供事故未然防止事案報告書」「駐車場巡回&マイク放送チェック表」「ポスター」などが付け加えられている。



RSN・西村直之代表理事は日遊協・韓裕副会長(中央)、庄司孝輝副会長(右)と歓談



業界誌記者に囲まれてご機嫌の全商協・中村会長(左から2人目)と回胴遊商・伊豆理事長(同3人目)



日電協・里見理事長(右)と話し込む日遊協・深谷会長